

授業科目名	開講年次	開講学期	講義種類	単位数	担当教員名
国語	1	後期	講義	2	常盤忍
<p>○ 授業の到達目標及びテーマ</p> <p>(1) 園(職場)において、子ども・保護者・同僚・上司と向き合い、話す・聞く・書くことを積極的に実践できる力を身につける。</p> <p>(2) 様々な場面での正しい日本語の使い方を学ぶ。</p> <p>(3) より多くの保育の基本用語に関する語彙力を身につける。</p> <p>(4) よりよく思いを伝えるための表現力を身につける。</p> <p>(5) 様々な情報などから、自己を振り返ったり課題を考えたりする力を身につける。</p>					
<p>○ 授業の概要</p> <p>国語の常識となっている言葉やその使い方を知ることが大切なことである。あらゆる場面での常識を身につけ、表現を豊かにしていくとともに、保育者としての生活を築く上で役に立つ実践力を培っていく。</p>					
<p>○ 授業計画</p> <p>第1回 オリエンテーション (様々な国語力が問われる場面と本講義の目標)</p> <p>第2回 公文書の書き方 (公文書の書式と文例, 公文書における用字・用語の使い方)</p> <p>第3回 間違いやすく使い方を迷う用語 (「聞く」か「聴く」か, 「異常」か「異状」か, など) 知って使いたいカタカナ語 (モチベーション, ポジティブ, キャパシティーなど) 書き間違いやすいカタカナ語 (レクリエーション, ドッジボール, 人間ドックなど)</p> <p>第4回 敬語の使い方 (敬語の必要性, 敬語の種類と形式, 気になる敬語の使い方)</p> <p>第5回 思いを伝える作文の書き方① (思いの整理, 主題絞り, 段落分け, わかりやすい表現)</p> <p>第6回 知っておきたい保育の基本用語① (環境構成, 愛着, 自己肯定感, 自我など)</p> <p>第7回 お礼の手紙の書き方 (手紙を書く時の心構え, 手紙の形式, 封筒と便せんの書き方)</p> <p>第8回 保育の基本用語(漢字)① (特徴, 描く, 遊戯, 虐待, 髪, 疾病, 完璧など)</p> <p>第9回 知っておきたい保育の基本用語② (食育, 感染症, 発達障害, 個人情報保護など)</p> <p>第10回 思いを伝える作文の書き方② (思いの整理, 主題絞り, 段落分け, わかりやすい表現) 保育の基本用語(漢字)② (懐く, 慰める, 挨拶, 憧れ, 褒める, 慕われるなど)</p> <p>第11回 新聞や月刊誌等から学ぶ保育現場 (保育に関する新聞記事, 月刊誌の論説など)</p> <p>第12回 知っておきたい保育の基本用語③ (児童相談所, 守秘義務, 服務規程など)</p> <p>第13回 知っておきたい鹿児島県の風俗と歳時 (初詣, 節分, 七草粥, 七夕, 正月準備など)</p> <p>第14回 生き方を考えさせることわざ (案ずるより生むが易い, 急がば回れなど) 感動を与える名言・名句 (愛とは他から奪うことではなくて, 自己を他に与える…など)</p> <p>第15回 温もりのある話し方 (挨拶やスピーチの要領・作法・秘訣, 電話のかけ方・受け方) 心を耕す詩 (金子みすゞ, 工藤直子, 茨木のり子)</p> <p>定期試験</p>					
<p>○ テキスト</p> <p>授業で配布する学習資料</p>					
<p>○ 参考書・参考資料等</p> <p>「これだけは知っておきたい わかる・書ける・使える 保育の基本用語」 長島和代 編著 わかば社</p> <p>「常用漢字ダブルクリア 三訂版 (常用漢字完全収録) 漢字検定5～2級対応」 尚文出版</p> <p>「文書・法制事務の手引」(第2次改訂版) 鹿児島県</p> <p>「公用文 用字用語の要点」 法務省法務総合研究所課長 廣瀬菊雄 著 新日本法規</p> <p>「鹿児島の暮らし方」 青屋昌興 著 南方新社</p>					
<p>○ 学生に対する評価</p> <p>学習への関心・態度(授業態度) 20% 課題解決への取組状況(討議・レポートの内容) 20%</p> <p>定期試験 60%</p>					

